

## 仙台市協働まちづくり推進委員会 第2回アクションチームの検討状況について

### ■ サポセンの機能強化について

#### 1. コンセプト等について

- ・「多様な主体が集まり創発が生まれる仕組みづくり」を機能強化のコンセプトにするとしても、もう少し分かりやすい説明が必要であり、議論が必要
- ・空間づくりのイメージワードとしては、「市民活動の森」「corabo forest」など。

#### 2. サポセンに期待される機能について

- ・市民活動の支援という機能を維持したうえで、協働を進める機能
- ・異なる主体の交流・協働の場(拠点)の提供
- ・多様な主体が気軽に集まる、立ち寄ることのできる場
- ・団体のマッチングや協働の後押し
- ・若者が何かを生み出す場
- ・企業との協働のきっかけづくり(若者との接点を求める企業のニーズを生かすなど)
- ・情報の効果的な発信

#### 3. 施設の改善案について

##### (1) 1階:

- ・現在は入口脇にエレベーターがあり、1階の奥まであまり行く機会がない。
- ・脇にある受付にスタッフが並ぶように座っていて奥の方にまで入って行きづらい。



- ・多様な主体が交流できる広場のような夢のあるスペース
- ・来館者が回遊できる仕掛けづくり
- ・まちづくりや市民活動のきっかけ、ヒントを得られる仕掛け
- ・五感を使って訴える映像などの活用
- ・現在学都コンソーシアムの事務局がある入口脇に、コンシェルジュのような人の配置  
(→事務局脇にセキュリティスペースがあるため、常時スタッフがいられるのも都合がいい。)
- ・受付は現在3階にある相談ブースとともに別の階に移働したらどうか。

##### (具体案)

- ・カフェなど  
→ただし、企業を入れて店舗の形式にすると水回りなど設備投資費用がかかるため、チャレンジショップのようなテント1つくらいの規模のショップに入ってもらおう。【入れ替わり制】

(2) **2階:**

- ・現在は事務室が入っているのみ。
- ・来館者用のエレベーターは2階に止まらず、バックヤードにある小型エレベーターしかないため、バリアフリーではない。



- ・事務室を別の階に移動して、ギャラリーやワークショップ、情報発信の場として活用してはどうか。
- ・エレベーターの設置については、構造上は可能。

(3) **3階～6階:**貸室機能は維持。

(4) **7階:**事務用ブースの可能



(具体案)カフェ機能がついている作業スペースなど

(5) **地下:**シェアキッチンなど、団体への貸し出し(入れ替わり制)

(6) **共通:**

- ・外壁への建造物の追加は困難(安全面、建築物の重要性などから)
- ・外部から見えるような団体の活動内容やイベント情報を発信できる仕掛けをつくる。
- ・トイレの改修
- ・複数のNPOが入居するNPOビル

#### 4. その他

- ・全館的な大幅改修は難しいだろうから、ポイントを絞って取り組むべき。
- ・費用対効果を意識すべき。
- ・いつまでにどの部分をやるのかという計画を立てて考えた方がいい。
- ・若者向けのパンフレットを大学のオリエンテーションで配付して、若者への周知を図る。
- ・キャラクターを活用した広報
- ・駐車場の確保  
(近隣の民間駐車場と契約。1階にカフェができた場合、カフェを利用したら駐車券を出す、何かアイデアを一つだしたら駐車券を出すなど、経費捻出の工夫が必要。)